

総務部 マネジメント方針

総務部では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和3年4月1日

総務部長 塚 谷 朋 美

【基本方針】

本市が中核市として着実に発展していくために、効率的に業務を進め、政策課題に的確に対応できる人材の育成に取り組み、人口減少社会にあっても活力ある地域づくりの実現を目指します。

また、「ふくい嶺北連携中枢都市圏」の中心都市として、活力ある社会経済の維持やよりよい行政サービスを提供できるよう、連携中枢都市圏ビジョン（令和元年度～5年度）に掲げる取組を推進します。

未来づくり推進局では、第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（令和2年度～6年度）に基づき、東京圏への若者の流出抑制や魅力ある雇用の創出など、各種施策を着実に推進し、すべての市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

また、本市の強みである住みよさや充実した子育て・教育環境をPRするとともに、就職・移住にかかる支援などの施策の充実を図り、さらなる移住定住を促進します。

さらに、北陸新幹線福井開業を見据え、首都圏等に向けて積極的に情報発信を行い、本市の認知度向上やイメージアップを図ります。

【組織目標】

- I. 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます
 - II. 計画的な行政運営を推進するため、第八次福井市総合計画を策定します
 - III. 人口減少・少子高齢社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョン（令和元年度～5年度）に掲げる取組を進めます
 - IV. 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます
 - V. 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します
 - VI. 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信し、東京事務所を拠点に本市への観光誘客やU・Iターンの促進、企業誘致に努めます
- ＜未来づくり推進局担当＞
- VII. （Ⅰ）人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組みます
 - VIII. （Ⅱ）地域の特色を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます
 - IX. （Ⅲ）北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組むとともに、市民等の機運醸成の促進に努めます
 - X. （Ⅳ）女性が輝く社会づくり及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

【行動目標】

組織目標Ⅰ 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます

行動目標	SDGs 指標
1 新行財政改革のさらなる推進 「福井市行財政改革指針（平成 29 年度～令和 3 年度）」は、今年度が取組の最終年度となることから、すべての取組が達成できるよう適切な進行管理を行います。 第八次福井市総合計画を着実に推進するため、「福井市行財政改革指針（令和 4 年度～8 年度）」を策定し、さらなる効率的、効果的な行財政改革に取り組みます。 「福井市行財政改革指針（平成 29 年度～令和 3 年度）」に掲げた 取組の達成度（※）：100% 「福井市行財政改革指針（令和 4 年度～8 年度）」の策定 ※ 全 31 の取組のうち、目標を達成した取組の割合 （目標達成の評価指標である「快晴」又は「晴れ」とした取組数／全取組数）	17 パートナリシップで目標を達成しよう 
2 職員の人材育成 北陸新幹線福井開業に向けて、連携中枢都市圏の政策課題に的確に対応できるよう、職員の政策形成スキルの向上及び自己啓発の促進を図るとともに、おもてなし意識の更なる醸成を図ります。 連携中枢都市圏市町の職員合同による政策課題研修（※）への参加自治体数 ：11 自治体（本市を含む） おもてなし意識の向上に係る研修の実施 ： 受講者数 300 人 ※ 連携中枢都市圏市町の職員合同による政策課題研修 全 9 回実施（インターバル期間：5 か月間）	8 働きがいも経済成長も  17 パートナリシップで目標を達成しよう 
3 職員数の適正化に向けた取組 今後の行政需要を踏まえた効率的な組織編成、計画的な職員採用等によって、職員数の適正化を図り、財政再建計画(平成 30 年度～令和 5 年度)を着実に実行します。 また、級別職員数の適正化や給与体系の見直しに引き続き取り組むとともに、コスト意識をもって業務の効率化を図ります。 福井市定員適正化計画(平成 30 年度～令和 4 年度)による 令和 4 年 4 月 1 日時点の職員数 ： 2,287 人 (平成 30 年 4 月 1 日時点の職員数 ： 2,372 人)	11 住み続けられるまちづくりを 

組織目標Ⅱ 計画的な行政運営を推進するため、第八次福井市総合計画を策定します

行動目標	SDGs 指標
<p data-bbox="148 394 588 427">4 第八次福井市総合計画の策定</p> <p data-bbox="175 434 1174 506">総合的かつ計画的な市政運営を進めるため、令和４年度から５年間のまちづくりの指針となる第八次福井市総合計画を策定します。</p> <div data-bbox="188 577 541 607" data-cs="2" data-kind="parent">第八次福井市総合計画の策定</div> <div data-kind="ghost"></div>	17 パートナリープで 目標を達成しよう 

組織目標Ⅲ 人口減少・少子高齢社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョン（令和元年度～5年度）に掲げる取組を進めます

行動目標	SDGs 指標
5 連携中枢都市圏の推進 連携中枢都市圏ビジョン（※）に掲げる取組を推進するため、有識者で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会の意見等を踏まえながら適切な進捗管理を行うとともに、圏域の更なる発展につなげるため、必要なビジョンの改訂を行います。 取組の進捗を踏まえたふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの改訂 ※ 連携中枢都市圏ビジョン 連携中枢都市圏の中長期的な将来像や具体的取組、事業費、取組期間、成果指標などを定めるもの（計画期間：令和元年度～5年度）	 17 パートナリープで 目標を達成しよう

組織目標Ⅳ 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます

行動目標	SDGs 指標
6 地方分権の推進 個性を活かし自立したまちづくりを進めるため、権限移譲や規制緩和について国に提案を行う提案募集制度を活用し、積極的に地方分権の推進を図ります。 提案募集方式による提案 ： 4 件	

組織目標Ⅴ 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します

行動目標	SDGs 指標
7 人権尊重意識の啓発 人権に対する理解を深めるため、市政広報やホームページによる啓発に加え、人権擁護委員による相談、関係所属や国、県、人権擁護委員等と連携したイベント等での啓発活動を実施します。 また、人権週間(※)にあわせ、図書館において人権図書紹介コーナーを設置するなど、人権尊重意識の涵養や知識の向上を図ります。 人権擁護のための講演会等の開催 :3 回 人権週間での啓発 人権図書紹介コーナーの設置 :5 館 ※ 人権週間 毎年12月4日～10日	 

組織目標Ⅵ 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信し、東京事務所を拠点に本市への観光誘客やU・Iターンの促進、企業誘致に努めます

行動目標	SDGs 指標
8 分かりやすい伝わる情報の発信 広報紙・テレビ・ラジオ・ホームページ・SNSなどの多様な広報媒体を有効に活用し、市政の主要施策や地域・市民活動に関する情報、「ふくい」の魅力をより広く効果的に発信していきます。 広報課職員のみならず、全職員の「広報力」を向上させることで、市民ニーズに即した的確で分かりやすい情報発信に努めるとともに、報道機関への情報提供にも積極的に取り組みます。 また、今年度開催予定の東京オリンピック・パラリンピック大会や、令和6年3月の北陸新幹線福井開業を見据え、「ふくい」の魅力を市内外に向けて広く発信していきます。 クロスメディア（※）件数（広報媒体間の連動件数） ： 332 件（元年度）→ 390 件（2 年度）→ 450 件（3 年度） ※ クロスメディア 一つの情報を複数の広報媒体を使って発信することで、媒体間の相乗効果を高め、相互に補完し合いながら、広く情報を提供する手段 （広報紙、ケーブルテレビ、民放テレビ、ホームページ、ライン、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ 等）	 11 住み続けられるまちづくりを

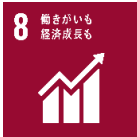
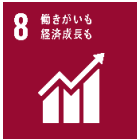
組織目標Ⅶ（Ⅰ） 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組みます

行動目標	SDGs 指標
10 福井の魅力を活かした関係人口づくりと移住定住の促進 都市部に住む若者を呼び込む機会や場づくりを推進することで、将来的な移住定住にもつながる関係人口の創出・拡大を図ります。 また、全国トップクラスを誇る本市の住みよさや充実した子育て・教育環境などの魅力のPRを強化するとともに、東京圏をはじめ全国からの移住を促進するための移住支援金や、若年女性、子育て世帯等への就職・移住にかかる支援などの施策の充実を図り、U・Iターン者の増加を目指します。 関係人口創出事業に関わる市外の人の数（※1） ： 20人（2年度）→ 30人（3年度） ⑬ 本市へのU・Iターン者数（※2） ： 266人（元年度）→ 422人（2年度）→ 450人（3年度） ※1 関係人口創出事業に関わる市外の人の数 福井とつながる対流拡大事業（XSCHOOLなど）、二地域活動・二地域居住等促進事業などの関係人口創出に向けた各事業への参加又は支援制度の活用により、継続的に地域づくり等の活動に取り組む市外の人の数 ・福井とつながる対流拡大事業：都市部の人材と本市の若手人材が、ともに学び交流を深めながら、事業化アイデアや地域課題解決に向けた活動に取り組むことで、都市部と本市との間を継続的に行き来する人口を創出する。 ・二地域活動・二地域居住等促進事業：本市を離れていても持続的に本市を応援し、関わりを深めていく機会を拡大するため、居住地と本市の双方での活動や居住を促進する。 ※2 本市へのU・Iターン者数 ふるさと福井移住定住促進機構（福井Uターンセンター）での相談や県、市の支援制度等を活用して本市にU・Iターンした人数	8 働きがいも経済成長も  11 住み続けられるまちづくりを 
11 ふるさと納税の推進 ふるさと納税返礼品の充実を図るなど、本市の魅力的な地場産品を全国に情報発信することで、継続的に応援していただける人はもちろん、新たな寄附者を獲得し、寄附額の増加を目指します。また、東京事務所等と連携して県外イベントでのPRを行い、ふるさと納税のさらなる普及拡大を図ります。あわせて、企業版ふるさと納税を活用した取組を推進します。 ふるさと納税寄附者数 ： 5,564人（元年度） → 6,667人（2年度） → 10,000人（3年度） ふるさと納税寄附額 ： 3億1,728万円（元年度）→3億1,395万円（2年度）→6.5億円（3年度）	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを 

組織目標Ⅷ（Ⅱ） 地域の特徴を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます

行動目標	SDGs 指標
12 未来を見据えた住民主体のまちづくり活動の推進 各地区のまちづくり組織や若手活動グループが、自ら地域の未来を考え、その実現に向けて取り組むまちづくり活動を支援するとともに、配置した地域担当職員が活動のサポートを行うなど、地域と市の協働によって課題解決や活性化を進めていくことで「持続可能で活力ある地域づくり」を目指します。 さらに、引き続き地区の「地域未来づくりビジョン」策定に向けた取組を支援するとともに、ビジョンに掲げられた事業実施の際の資金調達のための支援制度により、地域活動を後押ししていきます。 地域未来づくりビジョン策定完了地区数 ： 23 地区（元年度）→ 27 地区（2 年度）→ 30 地区（3 年度） ③38 地域の未来づくり推進事業「若手育成コース」（※）の事業数（累計） ： 10 事業（元年度）→ 10 事業（2 年度）→ 12 事業（3 年度） ※ 若手育成コース まちづくりの新たな担い手となる若者が実施主体となり、地域を活性化させる事業	
13 地域コミュニティ機能の保持、活性化 地域コミュニティ活動の主体である自治会の機能保持や活性化を図るため、強化月間を設けて、未加入世帯に向けた加入啓発を自治会連合会と協働で取り組むとともに、負担軽減、合併（グループ化）の推進などに取り組んでいます。 また、中山間地域には、地域集落支援員や特定集落支援員を配置し、コミュニティの状況把握を行い、機能保持や活性化の支援により、集落の存続に努めます。 ③37 自治会加入世帯数 ： 77,926 世帯（元年度）→ 78,098 世帯（2 年度）→ 78,300 世帯（3 年度）	

組織目標Ⅸ（Ⅲ） 北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組むとともに、市民等の機運醸成の促進に努めます

行動目標	SDGs 指標
1 4 首都圏等に向けての戦略的な情報発信の推進 北陸新幹線福井開業に向け、首都圏等に向けて積極的に情報発信を行うことで、本市の認知度向上やイメージアップを図ります。 プロモーションの旗印である福井市のイメージロゴ「福いいネ！」を活用して、市民や民間等と一体となって、あらゆる機会を通じて福井の魅力を発信していきます。 Instagram（※1）での「#福いいネ（※2）」投稿件数 ： 7,133 件（2 年度）→ 20,000 件（3 年度）（累計数（※3）） ※1 Instagram（Instagram） SNS（ソーシャルネットワークサービス）の一種で、今日の出来事や気になったことなどを気軽に発信することができる、写真や動画投稿・共有に特化したスマホ等のソフトウェア ※2 ハッシュタグ（#〇〇〇） SNS 投稿文中の「#（半角シャープ）」が付いたキーワードのことで、主に投稿文の最後に明記する。同じハッシュタグ「#〇〇〇」が付けられている投稿は、ハッシュタグ検索でまとめて閲覧できる。 ・同じことに興味を持った人たちと、共通の話題で盛り上げられる。 ・他のユーザーがハッシュタグで検索することで、自分の投稿を見もらえる。 ・人気のハッシュタグから旬の話題がわかる。 ※3 累計数 R4.3.31 時点で「#福いいネ」をつけて投稿された件数の合計。 R3.4.1 時点の投稿件数は 7,133 件（R2.7.27 スタート）	
1 5 新市民等の機運醸成の促進 北陸新幹線福井開業に向け、市内外に向けた福井の魅力発信や、本市に来訪された方に対するおもてなしに取り組む必要があります。そのためには、市民一人ひとりがプレーヤーとなり、オール福井で取り組むことが重要です。 官民一体となって福井開業に備えるため、来訪者へのおもてなしを下支えするボランティアの育成や支援をします。 おもてなしプレーヤー育成事業（※）参加者数：100 人 ※ おもてなしプレーヤー育成事業 おもてなしを実施する市民ボランティアを育成するため、福井駅周辺を中心に継続的にミニイベントやミーティングを開催し、ボランティアの活躍の場をつくるとともに、活動意欲のある市民同士をつなげます。	

組織目標X (IV) 女性が輝く社会づくり及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

行動目標	SDGs 指標
16 女性が輝く社会づくりの推進 企業や地域、家庭での意識改革を図り、女性が働きやすく仕事と家庭を両立できる環境づくりをすすめます。 企業向けには、女性活躍等のより一層の推進を図るため、組織診断システム「fukurea（フクリエ）」（※1）の活用を促します。学生向けには、自身の将来設計を考える「ライフデザイン出前講座」（※2）等を開催し、福井での就労、結婚、子育て意識の向上を図ります。さらには、地域活動への女性の参画を呼びかけ、市民の男女共同参画意識の向上に努めます。 ③3 「ライフデザイン出前講座」等に参加し、自身の将来設計や福井で輝きながら働くことに関心を持った女性の割合（※3）： 90.0%以上 ③4 自治会・防災・防犯などの地域活動に参加している女性の割合（※4）： 50.0%（3年度） ※1 女性活躍やワーク・ライフ・バランスなど、福井の職業生活における課題解決を目的に制作した本市独自の企業の組織診断システム ※2 高校生や大学生を対象に、グループワークを通じて福井での就労や、結婚、子育て意識の向上を図る講座 ※3 令和3年度目標 関心を持った女子学生数／事業参加者数 90.0%以上 ※4 令和3年度目標 福井市総合防災訓練に参加した女性の数／総参加者数 50.0%	5 ジェンダー平等を実現しよう  8 働きがいも経済成長も 
17 若者の結婚に対する意識の向上 若者の未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、誠実に結婚を希望する男女を対象に、様々な結婚支援を実施していきます。 昨年末に設置したふくい婚活サポートセンター「ふく恋」（※）と連携し、身だしなみやコミュニケーション等の学びと出会いの場を提供する「婚活スクール」を開校します。 これらの取組を通じ、男女の結婚意識を高め、出会いから交際、結婚に至るまで一貫した支援を行うことで、より多くの若者の結婚が叶えられるよう後押しします。 ④1 「縁活」イベント等におけるカップルの成立数 ： 37組（元年度）→ 17組（2年度）→ 40組（3年度） ※ マッチングシステムを活用した出会いの場の提供や結婚に関する情報発信など、県と全市町で構成する公的な結婚支援センター	3 すべての人に健康と福祉を 

